

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名 取組団体・企業名	福井県
取組の名称	① 第12回「全国高校生食育王選手権大会」の開催 ② 「ふくい味の週間」および「ふくい食の祭典」の開催
実施時期	① 平成30年11月18日（日） ② 平成30年11月11日（日）～11月18日（日）
取組内容	① 第12回「全国高校生食育王選手権大会」の開催 福井県では近い将来、自立した食生活を送ることになる高校生を対象に、毎年「高校生食育王選手権大会」を開催しており、今年で12回目になります。 食に関する知識や調理技術などについて競うことを通じて、食に対する関心を向上させると共に、食を選択する力を身に付け、望ましい食習慣の形成を図り、食育活動の実践を促進することを目的としています 予選に参加した、全国の303チームの中から勝ち抜いた10チームの高校生たちが福井県産業会館に集結し、食に関する知識、調理技術、実践している食育活動などについて競いました。 今年は、北海道三笠高等学校のチーム「飛翔」が優勝し食育王に選ばれました。また、福井県奥越明成高校のチーム「もりもりトリオ」が準優勝となりました。 ② 「ふくい味の週間」および「ふくい食の祭典」の開催 福井県では、福井の美味しい食材（越前がに、里芋、そば等）が豊富な11月の1週間（今年は11月11日～18日）を「ふくい味の週間」と定め、ふくいの食を「学び」「味わい」「楽しむ」様々な食の催しを各市町や関係機関、直売所、スーパー等と連携し実施しました。 また、その最後の週末である11月18日に、福井県産業会館にて「ふくい食の祭典」を開催しました。県民が福井の食について楽しく学べる、味わえるよう、食育ゲームやクイズ、旬の農林水産物やスイーツ、加工品の直売、福井の新ブランド米「いちほまれ」の試食、福井のそばや郷土料理等が味わえるコーナーを設けたところ、多くの方の来場ありました。



食育王選手権の競技の様子



課題に応じたメニュー提案



多くの来場者でにぎわった「ふくい食の祭典」会場の様子

【様式2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名 取組団体・企業名	福井市
取組の名称	①イベント（国体イベント・食フェス・三里浜砂丘地収穫祭） ②第3次福井市食育推進計画周知（チラシ配布）③学校給食推進事業
実施時期	①9/28（金）、29（土）、10/12（金）・10/14（日）・10/21（日） ②9月～10月 ③4月～3月
取組内容	①イベントにて食育の啓発を行いました。 ・国体イベント「はぴまつり ～福井の「食」と「文化」でおもてなし大作戦～」 食育の祖「石塚左玄」PRブース（パネル展示、玄米ワッフルおにぎりふるまい） 福井の食PRブース（おろしそは、ソースカツ丼等） ・第9回食育フェスティバル 食育コーナー（体験企画、食育クイズ等） 健康コーナー（ベジ・ファースト運動・がん検診PR等） 食文化継承企画（若手そば打ち披露） ・三里浜砂丘地収穫祭&オリーブイベント 野菜販売、収穫体験（大根、長芋）、定植体験（オリーブ） オリーブ廃油でのキャンドル作り（食品ロス削減） ②第3次福井市食育推進計画の周知として、朝食摂取及びバランスのよい食事について掲載しました。 配布先：小中学校、保育園等、公民館、行政関係施設等 配布数：チラシ13,000枚、ポスター150枚 ③学校給食推進事業として下記の事業を実施し、給食での食育実践を行いました。 ・食育周知啓発（給食だより・給食時間の校内放送） ・朝倉ゆめまるランチ事業（食文化の理解促進、地場産食材の使用） ・福井しあわせ元気国体おもてなし給食（各県の代表的な郷土料理を提供） ④Facebookによる情報発信を行いました。 目的：保護者をはじめ多くの人が、学校給食や食育への理解・関心を深め、家庭での学校給食に関する対話を通じて子ども達への食育につなげる。



【様式2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名	福井県
政令指定都市名	
取組市町村名	敦賀市
取組団体・企業名	JA 敦賀美方、敦賀合同青果、公衆商店、共和冷凍、家高
取組の名称	二州地区における、市町を横断した学校給食へのかぼちゃの使用について
実施時期	11月
取組内容	敦賀市学校給食センターが主催の地場産食材利用率向上検討会において、かぼちゃを学校給食で使えないか JA 敦賀美方から提案があり、敦賀合同青果、食品加工業者等の協力を得て若狭町、美浜町、敦賀市の小中学校の給食に二州地区で栽培したかぼちゃを使用しました。 複数の生産者に生産を依頼し、JA 敦賀美方が5回に分けてかぼちゃを集め、敦賀合同青果へ出荷、食品加工業者によって角切りし冷凍された状態で各小中学校調理場へ納品されました。 給食当日に敦賀市立敦賀北小学校にて使用されたかぼちゃについて、栄養教諭が児童に話しをしました。 嶺南ブロック学校栄養士研究会が「かぼちゃ新聞」を作成し、JA 敦賀美方、生産者、各小中学校に配布しました。  

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名 取組団体・企業名	小浜市 食のまちづくり課
取組の名称	「御食国アカデミー Vol. 4」
実施時期	5月21日
取組内容	「若狭の命を生かした食材と料理のあり方」をテーマとし、料理人ら約 20 人がアル・ケッチャーノ奥田政行シェフと共に食材や料理を学びました。 

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名	福井県
政令指定都市名	
取組市町村名	大野市 越前おおのそばまつり実行委員会
取組団体・企業名	
取組の名称	ゆいの故郷 越前おおの新そばまつり 2018
実施時期	平成 30 年 11 月 17 日（土）、18 日（日）
取組内容	大野在来そばの消費拡大を促し、「そば産地越前おおの」の P R と地場産品等（農林産物加工品等）の販売による産地振興を図ることを目的に、平成 17 年から開催し、今年で 14 回目の開催となりました。 そば団体 8 団体による、大野在来種の新そばを使用した手打ちそばの実演とおろしそばの対面販売のほか、地元の加工グループ等による農林産物や農林産物加工食品等の地場産品の販売や、軽トラ野菜市、啓新高等学校そば部によるそば打ち披露等を実施しました。 また、今回は、テラル越前農業協同組合との共同開催により、小椋久美子さん（スポーツキャスター）のトークショーや、上庄さといもなどの特産品が当たるガラガラ抽選会を開催しました。 市内外の多くの方にご来場いただき、風味豊かな大野在来そばを味わっていただきました。
  	

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名 取組団体・企業名	① 勝山市 ② 北谷クラブ ③ 勝山市ふるさと活性化協議会
取組の名称	①「親子で体験! そば打ち&流しそば教室」 ②「田舎暮らし体験ツアー」 ③ 特産化を目指せ! 「行者にんにく」を使った料理教室
取組内容	①親子で体験! そば打ち&流しそば教室 ～勝山市～ ・勝山市の特産であるそばをPRし、親子で楽しく郷土料理に親しんでもらう事を目的に、そば打ち&流しそば教室を行いました。「お父さんとそば打ちができて楽しかった」「流しそうめんスタイルでそばを流して食べたことが楽しかった」等の感想が聞かれ、勝山市の食育理念である「食に親しみ、食を楽しむ!」ことのできる教室となりました。  ②田舎暮らし体験ツアー ～北谷クラブ～ ・年間を通じて、「田植え、まき割り、稲刈り、報恩講料理体験」ツアーを企画し、農作業や伝統料理などの田舎暮らしを市内外の方に体験していただくことを目的に北谷クラブが田舎暮らし体験ツアー開催しています。東京をはじめ各地から木根橋区を愛する方々が毎年体験に来られており、このツアーは都市住民と地域住民との交流を通して、地域の活性化にも繋がる取り組みとなっています。  ③特産化を目指せ! 「行者にんにく」を使った料理教室～勝山市ふるさと活性化協議会～ ・勝山市で特産化を目指すために勝山市農業公社が中心となって栽培を行っている栄養価の高い「行者にんにく」を使った料理教室が、勝山市ふるさと活性化協議会主催で開催されました。「行者にんにく」は幻の山菜と言われ市民にあまりなじみのない山菜で、料理教室では、「肉巻き」「餃子」「五色かき揚げ」「かきたまスープ」のメニューを学びました。 勝山市では、今後、行者にんにくを新たな特産としてPRしていく予定です。 

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名 取組団体・企業名	鯖江市
取組の名称	① 小学校と連携した食育事業の実施・・・9月～11月 ② 食の安全安心 親子体験講座の開催・・・8月9日 ③ 伝統薬味「山うに」PR動画公開・・・11月16日
実施時期	上記のとおり
取組内容	① 小学校と連携した食育事業の実施 【お菓子の授業】・・・H28～継続事業（3年目） 鯖江市内の農家が育てた枝豆を使い、プロの菓子職人の指導のもと、子どもたちに身近なおやつを作る体験をととし、旬の地元食材に触れる機会をつくりました。 対象：神明小学校 2年生（110名） 内容：「ずんだもち」作りとして、すり鉢やすりこぎを使用し、枝豆の潰し方や、白玉だんごの作り方を体験 【うま味の授業】・・・H28～継続事業（3年目 全校実施） 5年生を対象に、家庭科の調理学習枠のなかで日本人として和食への理解を深め「うま味」を活用した食文化を伝えることを目的に行いました。味噌汁を作る授業と連携し、和食のお話や出汁の違いなどを学び、一汁三菜を基本とする日本人の食事スタイルは栄養バランスが良いことも伝え、家庭での食生活につなげました。 対象：鯖江市内全小学校（12校）5年生（708名） 内容：プロの和食料理人から和食の良さや出汁の違い、特徴を学び、出汁の違う5種類（こんぶ、かつおぶし、煮干、あわせ出汁）の味噌汁の飲み比べを体験。 【地場産学校給食の日】・・・H20～継続事業（21回目） 地元生産者の野菜は新鮮で味がよく、安全で安心して食べることができることを実感し、郷土の農産物への関心や給食に関わる人たちへの感謝の気持ちを高めることを目的に「地場産学校給食の日」を11月22日に実施しました。 対象者：鯖江市内公立小・中学校・幼稚園・保育所 約7,400人 献立：菜花米ごはん、鯖江の恵かきあげ、かぶとキャベツの酢漬、越前うまか汁、水羊羹 ② 食の安全安心 親子体験講座の開催 一般消費者を対象に、食品表示についての啓発を目的に夏休み期間に講座を開催。 「わくわくドキドキ アイスクリームのひみつを探ろう！」と題し、アイスクリーム、アイスマルク、氷菓など、成分の違いで食品表示が変わることなどを学び、アイスクリームを実際に作る体験も行いました。 参加者：親子62名 会場：アイアイ鯖江 健康福祉センター ③ 伝統薬味「山うに」PR動画公開 鯖江市河和田地区に古くから伝わる伝統の薬味「山うに」を次世代に伝承するため、PR動画を制作し、動画による情報発信を行っています。完成した動画をYouTubeにて公開することで、若い世代の方にもふるさとの味や、ふるさとの良さを再発見していただくことを目的としています。



お菓子の授業



うま味の授業



地場産学校給食の日の献立



食の安全安心親子体験講座



「山うに」PR動画

【様式2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名 取組団体・企業名	あわら市
取組の名称	①簡単で優しい御節料理教室 伝承料理の普及 ②こども園での取り組み ③小学校での取り組み
実施時期	①平成30年12月4・11日 ②③食育月間以外
取組内容	①【簡単で優しい御節料理教室】の実施（担当：健康長寿課） 食育スタジオにて市内在住者を対象に、食生活改善推進員を講師に迎え、御節料理教室を2回実施しました。若いお母さん方にも御節料理や伝承料理等に親しんでいただきたかったので託児を設け開催し、20～80代の計40名の方に参加していただきました。「家族に安心して食べさせてあげることができる」「こんなに簡単に御節ができると思わなかった」「毎年、御節は市販のものだけど今年は是非挑戦したい」などの感想がありました。幅広い年齢の方に食について関心をもってもらえたと思います。  調理実習の様子  サツマイモ堀り  食育クイズ  餅つきの様子  石臼体験 ②【敬愛こども園での取り組み】（担当：子育て支援課） 敬愛こども園：干し柿作り（4歳児） 散歩途中、窓際に干してある柿を見つけ、こども達の声きっかけに園で挑戦しました。園庭の渋柿の皮をむき、消毒をし、高齢者施設の窓と一緒に干してもらいました。干し柿の周りに付いている白い粉を不思議そうに観察たり、渋い柿が甘くなっているという味の変化に気付くことができました。 ＊市内各こども園にて、野菜の栽培や芋ほり、ぶどう狩りなど季節に応じた食育に関する取り組みを年齢に合わせ実施しています。 ③【市内小学校での取り組み】（担当：教育総務課） ・北潟小学校：祖父母学級にて杵と臼でもちをつき、出来上がった餅を皆で丸め試食 ・芦原小学校：伝承料理教室、給食週間での食育啓発活動 ・細呂木小学校：食育クイズ、ふくいのおいしいものフルーツバスケット ・学校給食センター：ふくいの地場産学校給食推進（各小学校） おばあちゃんの味の日など  【全校集会の様子】 

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名	福井県
政令指定都市名	
取組市町村名	越前市
取組団体・企業名	
取組の名称	地産地消の推進
実施時期	4月～11月
取組内容	＜越前市まるごと食の感謝祭の開催＞ 11/17、18 武生中央公園 地場野菜やそれらを活用した加工品の販売やジビエ料理のふるまいを行うなど地元の食をPR。その他、食育推進団体や関係機関が各々の食育活動について発表、食に関する情報提供もできました。2日間で2万人の来場がありました。 ＜越前ふるさとランチバイキングの実施＞ 11/18 市文化センター 市内の食育団体5団体と仁愛大学が連携し、郷土料理や地元食材を活用した料理をバイキング形式で提供しました。料理に使用された地元食材の紹介、郷土料理の等レシピ集を配布し、参加団体の活動等についても映像で紹介しました。 地元食材のPR販売 郷土料理をバイキング形式で提供の様子 ＜ごはん塾の実施＞ 9/2、11/18 中央公園等で実施 参加者は50名～100名程度 市内の5歳児を対象に、地元農家さんと、地元のお米を使って、薪割りからかまど炊きまでの一連の作業を体験してもらいました。また、生産農家さんのお米の話、農村の女性グループによる郷土料理のふるまい、地元大学生による食をテーマにした紙芝居や手遊び等もありました(11/18)。市では年間を通しごはん塾の希望者を募っており、出前講座やイベントなどで例年市内5カ所程度実施しています。 ＜コウノトリが舞う里づくり大作戦の開催＞ 9/17 エコビレッジ交流センター コウノトリの放鳥式典に併せ、市内外から集まる来場者に地場産品や地元食材を活用した食を販売し、クイズラリー等参加型のブースも設けながら、景品などで地元特産品や加工品を知っていただく機会をつくりました。参加者は約400名です。 ＜田んぼファンクラブの実施＞ 5/26、6/16、7/28、9/22、9/29、10/27 白山地区 参加者は一年間同じ圃場で稲作体験をし、最終日には交流会に参加、収穫したお米(コウノトリ呼び戻す農法米)も持ち帰れます。家族連れだけでなく、仕事仲間での参加も多く、参加者同士の、また地元農家さんも参加されることから、生産者と消費者の交流の場にもなっています。参加者は全員で100名程度です。 ごはん塾での 学生による紙芝居の様子 稲作体験の様子

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名 取組団体・企業名	坂井市
取組の名称	健康食育フェスタ 2018
実施時期	平成 30 年 11 月 18 日（日）9：30～15：30
取組内容	坂井市では、広く食育を周知するために、食育フェスタを開催しました。 1. 場 所 坂井体育館 2. 来場者 303 名 3. 内 容 【体験・販売ブース】 ・坂井市消費者団体連絡協議会 「ジュースの糖度を調べよう」 ・いねす市運営協議会 「地場産大豆を使った打ち豆作り」 ・坂井市食生活改善推進委員会 「バランスのとれた食事とは（3色分けゲームとバランス弁当の工作）」 「伝承料理・エコクッキングの試食提供」 ・坂井市健康サポーター 「健康的なアルコール摂取に関する展示と説明」 「アルコールパッチテスト」 ・輪花菜グループ 「地元食材を使ったお惣菜の販売」 ・在宅栄養管理・食事支援センター坂井地区 「栄養相談」 ・グループつみ木 「伝承料理（とびつき団子）」の販売 ・直売所ゆりいち 「地元食材を使ったお惣菜の販売」 【展示ブース】 ・（株）平和堂アルプラザアミ ・坂井市母子保健推進委員会 ・野菜ソムリエコミュニティ福井坂井ブロック ・仁愛大学 ・三国松涛保育園 ・坂井市食育市民ネットワーク 4. 主催者 坂井市食育市民ネットワーク、坂井市



【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名 取組団体・企業名	永平寺町
取組の名称	① 伝承料理DVDを活用した授業・・・5月 ② 収穫したお米でおにぎりパーティ・・・6～12月
実施時期	上記のとおり
取組内容	① 伝承料理DVDを活用した授業の実施・・・松岡中学校 永平寺町農林課作成のDVD「永平寺の伝承料理」を活用し、家庭科の時間に永平寺町の伝承料理についての授業を行いました。 生徒たちは、伝承料理が影を潜めてしまった原因を分析し、単に消費者としてではなく、後世に伝えていく伝承者としての意識が大切であることを理解しました。 また、地産地消による、食と地域のつながりについても理解が深まった様子でした。 ② 収穫したお米でおにぎりパーティ・・・吉野幼稚園 園児が田植から、おにぎり作りまでを体験する取組を行いました。 《田植え体験》田んぼは、最初こそ「ぬるぬるして、きもちわる～い！」と、恐る恐るでしたが「どろのなか、きもちいい～」「おたまじゃくしがいるよ！」とすぐに慣れた様子。地域の農家の金元さんを先生としてお迎えし田植えを学びました。子どもたちは、転びそうになりながら、徐々にコツをつかんで苗を植えることができました。「おいしいお米ができるといいな～」と収穫が楽しみな様子。 《おにぎり作り》秋に実ったお米を使い、おにぎりを作りました。ラップにご飯をのせ、おにぎりを完成しました。金元先生をご招待し、みんなで作って食べるおにぎりは、美味しさも倍増。1年を通して、作物を育てることで、その大変さや、作って下さる方々への感謝する気持ちが育める機会となりました。



【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名 取組団体・企業名	南越前町
取組の名称	児童が自分たちで栽培した農作物を使っのクッキング
実施時期	平成 30 年 12 月
取組内容	南越前町立南条小学校では、 児童達が自ら栽培した農作物を用いて、クッキングを行いました。 2 年生は生活科の時間に、かぼちゃを使ったブラウニー、 3 年生は特別活動の時間に、さつまいもを使った蒸しパン、 5 年生は家庭科の学習の時間に、ご飯を炊く実習を行いました。  かぼちゃを使ったブラウニー作りの様子

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名 取組団体・企業名	越前町
取組の名称	お魚体験の実施
実施時期	平成 30 年 10 月 4 日(木)～平成 30 年 10 月 23 日(火)
取組内容	越前町内の保育園児を対象に、毎年秋にお魚体験を行っています。 越前町漁協女性部の方が講師となり、各保育所・園に出向いて越前ガレイ（アカガレイ）やイカの一夜干しの作り方を子供たちに教えます。 今年は、8つの保育所・園で実施し、延べ 213 人の園児が干物作りに挑戦しました。 作業の中で魚の内臓を取り出すときは、魚の心臓がどれかを見せませす。「食べるということは命をいただくということ」を子供たちに伝えることで、食べ物を粗末にせず、好き嫌いをなく、何でも食べられるようになってくれることを目的としています。 お魚体験が行われる秋は底引き網漁が盛んな時期で、多種多様な魚種が網にかかるので、漁師の方に魚を提供していただき、子供たちが自由に見て触れることのできる体験も並行して行っています。
	

【様式2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名 取組団体・企業名	美浜町 健康づくり課
取組の名称	① 親子げんげん歩楽寿 ② 保育園食事相談室
実施時期	取組内容と併せ下記に記載
取組内容	①「親子げんげん歩楽寿」の実施 【放課後児童クラブ対象おやつ教室】…8月 夏期休業中に放課後児童クラブに通う児童を対象におやつの摂り方についてのミニ栄養教室とサンドイッチ作りの調理実習を行いました。   【小学5年生・6年生の家庭科授業】…10～12月 1日に必要な野菜量と塩分のとり方について学習しました。また、調理実習では、5年生は、ご飯とみそ汁、6年生は、じゃがいも料理を作りました。   【中学2年生の家庭科授業】…10～12月 健康診断結果の見方や検査値と食事の関係について学習しました。自分の健康診断結果を見ながら、食生活の改善点やバランスの良い食事の大切さに気付く生徒がたくさんいました。   ②保育園食事相談会の実施…10月 保育園開放日において、食事栄養相談を実施。家庭での食事やおやつについての相談、だしの試飲、油や塩分の模型を提示して指導を行いました。  

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名 取組団体・企業名	高浜町
取組の名称	さといも堀り
実施時期	平成 30 年 11 月 16 日
取組内容	【ねらい】 ・子供たちが、農家の方から直接お話を聞くことで、自分が住む地域で「さといも」が栽培されていることを知ってもらいます。 ・子ども達が自分たちの手で、収穫して食べることで、地元の野菜の美味しさや、普段から愛情を持って作物を育ててくれている生産者への感謝の思いを育みます。 【実施日】 11 月 16 日（金） 【参加者】 青郷小学校 2 年生 23 名 小学校教諭 1 名 給食センター 2 名 生産者の方 1 名 高浜町産業振興課 3 名 【実施内容】 ・生産者の方に自己紹介と、さといも畑の説明。 ・さといもの掘り方を指導してもらう。 ・二人一組になり、さといもを掘る。 ・収穫した さといもを洗う作業（後日給食にて使用）。 ・生産者の方にお礼。



【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名	福井県
政令指定都市名	
取組市町村名	若狭町
取組団体・企業名	
取組の名称	ごはん塾の開催
実施時期	平成 30 年 11 月 3 日
取組内容	若狭町内の親子約 30 人を対象に、釜戸を使った炊飯体験と講話を通して、ごはん食の大切さを伝える「ごはん塾」を、福井県立三方青年の家野外炊さん場で開催しました。 食育や地産地消推進活動や有機農業の研究等で知られる保田茂神戸大名誉教授による講話では、ごはん食は腸内環境を整え、体調だけでなく心の安定にも重要であるということ、資料を交え保護者らに説明しました。 また、炊飯体験では、保田氏の指導のもと、子どもたち自らがお米を洗い、薪割り体験で作った薪を釜戸に入れて火を付け、ごはんを炊きあげました。 ごはんは 30 分ほどで炊きあがり、参加した親子で、若狭町特産の「福井梅」や「山内かぶら」の漬物とともに炊き立ての釜戸ごはんを試食しました。 子どもたちは次々とおかわりし、炊きたてのごはんのおいしさを実感していました。
 	